

腎不全のための治療法には、どんな方法がありますか？

患者さんの状態、合併症などにより透析を始める時期は異なりますが、一般的に腎機能が5-10% (血清クレアチニン値が5 ~ 8 mg/dL以上)になると、腎臓の働きを人工的に行う透析療法や腎移植が必要になります。まず透析療法について説明します。

透析療法

透析とは、血液中の老廃物や余分な塩分や水分をろ過し、血液をきれいにすることで、血液浄化法とも呼ばれます。

これには、血液透析と腹膜透析(CAPDやAPD)、あるいはこれらの併用療法があります。

血液透析

週2-3回、医療施設で専門スタッフによって行われる透析です。また介護者が居れば、自宅で透析を行う事(在宅血液透析)も可能です。



腹膜透析(CAPD/APD)

自宅や職場などの社会生活の中で、自分自身で行う在宅療法です。

機械を使って夜間就寝中に、自宅で自動的に行う方法もあります(APD)。



腎移植

他の人の腎臓をもらい、体内に植え込む方法です。日本での移植は現在のところ限られています。

